

カジノのせいで 港湾会計が破綻

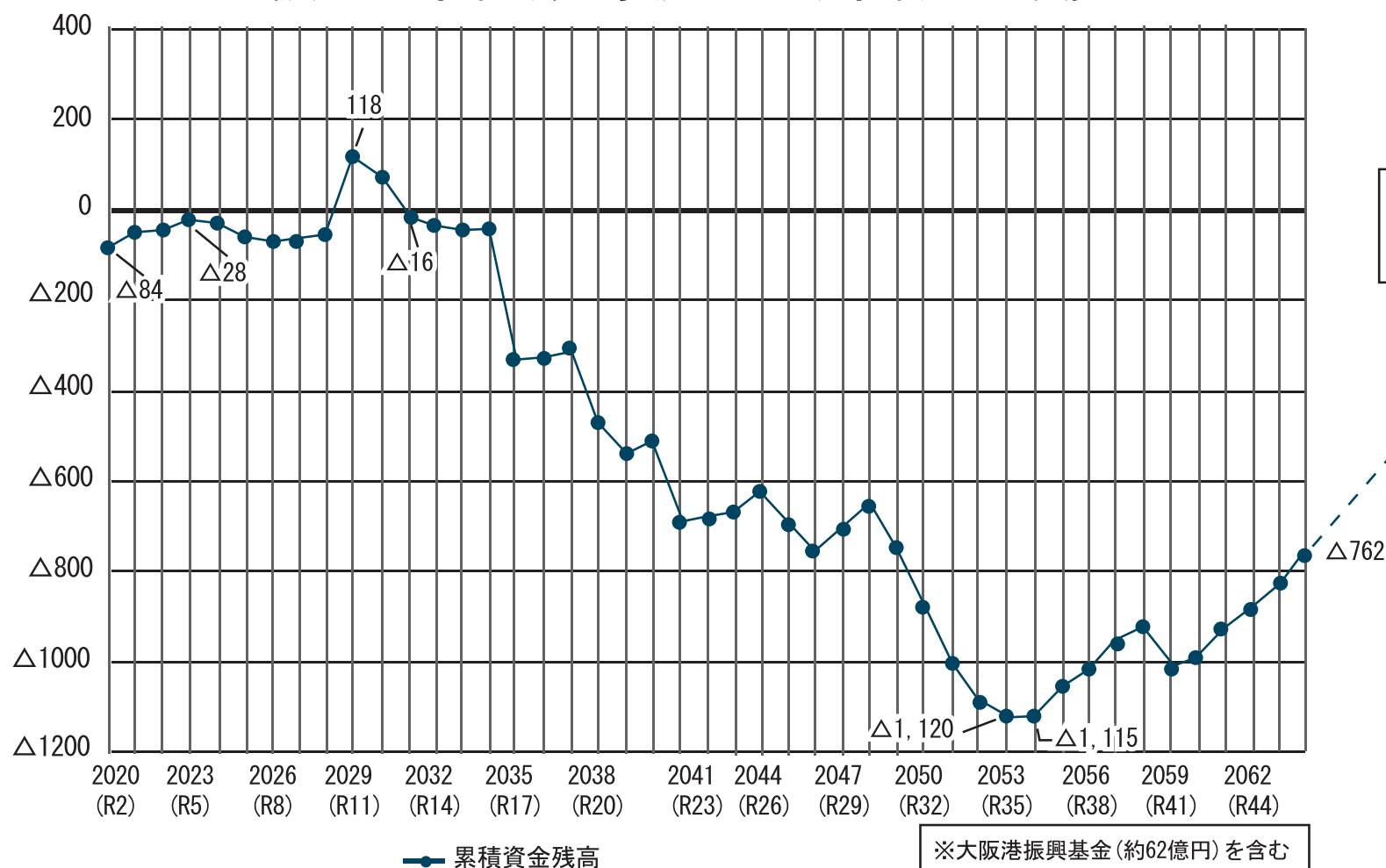
(3) リスク評価の見直し

大阪港湾局作成

②事業収支の将来見込み-大阪港埋立事業（うち夢洲土地造成事業）
長期収支見込み・2064年度まで大阪港埋立事業（うち夢洲土地造成事業）の収支見込み

(単位：億円)

大阪港埋立事業（うち夢洲土地造成事業）の収支見込み



2076 (R58) 年度以降、累積資金残高がプラスとなる見込み。



●2067年まで借金返済

通常の埋め立て費用に加えて土壌改良費、インフラ整備費など2482億円が「港湾事業会計」に押し付けられた。埋立事業会計は上のグラフ通り2076年まで赤字から抜け出せない。

●不当に安い賃貸料

I Rカジノ事業者に貸しだされる賃料は428円／㎡・月額（年額25億円）です。これは前松井市長の指示により夢洲駅やI R・カジノを条件に入れず試算した結果です。しかも4社が試算して3社の答えがまったく同じだったという疑惑の試算です。現在裁判が争われています。